

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 14 日(2022.2.14)

【公開番号】特開 2020-137749(P2020-137749A)

【公開日】令和 2 年 9 月 3 日(2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-036

【出願番号】特願 2019-35175(P2019-35175)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 3 日(2022.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明の目的は、遊技の興趣を高めることである。

30

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

以上の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、
所定条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機において、
遊技に関する制御を行う制御手段と、
遊技に関する情報を表示可能な表示手段と、

40

初期位置と動作位置との間で動作可能な可動部材を備える可動演出手段と、
始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記ゲームの実行権利を始動記憶として記憶する始動記憶手段と、を備え、
前記制御手段は、
前記始動記憶手段に記憶された始動記憶に関する情報を示す保留表示を前記表示手段に表示可能であるとともに、
実行中のゲームに対応する始動記憶に関する情報を示す実行中保留表示を前記表示手段に表示可能であることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

50

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機において、

遊技に関する制御を行う制御手段と、

遊技に関する情報を表示可能な表示手段と、

初期位置と動作位置との間で動作可能な可動部材を備える可動演出手段と、

始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記ゲームの実行権利を始動記憶として記憶する始動記憶手段と、を備え、

前記制御手段は、

前記始動記憶手段に記憶された始動記憶に関する情報を示す保留表示を前記表示手段に表示可能であるとともに、

実行中のゲームに対応する始動記憶に関する情報を示す実行中保留表示を前記表示手段に表示可能であることを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50